



< 受験準備期間 >

前回、前代未聞の公開受験に挑んだ私であったが、内容的には完敗であったように感じる。転職直後で自分のペースを掴めないまま、追い込みが効かないままにラボ試験に向かっていった。自分でも「これは危ないな」と思っていたが、結果が物語っている。そんなに甘い世界ではないのである。

不合格になった場合、サンノゼ時間だと思うのだが、その当日だけは次の予約を入れることができない。早く次の日程を決めたくて焦るが何ともならない。ここで行こう、と自分の中では決めてはみるものの、「明日までに誰かが予約を入れたらどうしよう」と思ってしまう。

私は月曜に試験を受けるようにしている。前にも書いたが、この日程が会社を休む日数が一番少なくなるのである。

予約解禁日となり、10/3(月)に無事予約できた。会社にも再チャレンジする旨を伝え、休みをもらうことにした。あとは勉強するだけ。ただ、会社で勉強できないのは本当につらい。

ところが予想外の事態が発生した。試験まで一ヶ月を切った時にシスコの CCIE Administrator から驚くべきメールが舞い込んだ。

「10/3はオーストラリアの Public Holiday だからラボができません。」

???

意味不明。

何ですか？

オーストラリアでは Public Holiday は一ヶ月前に決まるんですか？

しかも、こんなに大切に、かつ、信じられない内容のメールなのに「Hi, Tatsuo」である。誰がファーストネームで呼んでるんだよ。

矢継ぎ早に

「10/4に予約を変更するが、もし文句があるなら連絡をくれ。」

である。ありえねえ～

すぐに日本の CCIE Administrator さんに電話をして、愚痴を言った。CCIE Policy では、確か、28日前までにシスコ側の勝手な都合で日程を変更できたような気がする。だから文句を言っても仕方ないのであるが、愚痴を言いたい年頃ということもわかって欲しい。

10/4(火)だと、水曜日まで休まないといけないので会社に迷惑をかけてしまう。しかし、他の日程で月曜が空いていない。10/末であれば空いていたが、そこまで待てない。それが**プロの受験家**の感性である。ここで受けないとタイミングを逃すことになる。

仕方ないのでこの話を受けることにした。会社には了解をもらった。ありがとうございます。現在の職位で全く関係のない資格への挑戦で休みをもらえるだけでありがたいと思っている。

土日はもちろん全てを勉強に使っている。9月は3連休が2回あったが、もちろん勉強である。

ところが、また驚愕の事実が発覚した。何とラボ試験代の Payment が私の使用するカード会社から DECLINE されたのである。そのメールはベルギーの Administrator の T さんからもらった。システムの改修中で自動的にメールが受験者に届かないらしい。忘れもしない、夜の9時頃。

すぐに自分の PaymentStatus を確認するが、Pending になっている。どうしたらいいのかわからない。メールでやり取りする時間的な余裕はない。すぐ T さんに電話した。T さんは

「カードの上限で支払いができないことが頻繁にある。」

などとアドバイスをくれるが残念ながら私のカードの上限はとても深いキューで動作している。Queue Depth を変更しているのである。10回以上、ラボ試験を一気に支払っても問題はない。sh queueing で確認してもらえばわかるはずだ。

結局、カード会社に確認をするということで電話を切った。すぐにカード会社の夜間窓口で電話をすると、

「確かに弊社の都合で拒否しました」

とのこと。何でだよ。今まで何度同じ支払いをしたと思ってる？

「この電話でご本人様の支払いであると確認できましたので、拒否ステータスを解除させていただきます」

とのことだが、釈然としない。翌日の営業日に説明をしてもらったが最近ではカード犯罪も多くて、このように拒否するケースもあるとのこと。約款に従ってやってるんだらうから文句を言っても仕方ないんでしょうね。

ただ、CCIE Policy では 28 日前までに支払いをしなくてはならない決まりになっている。もう 3 週間を切っている状況で、果たして試験が受けられるのか、試験を Drop されるのではないかと嫌な感じでも寝ている状態ではない。各所と調整して受験できることは 2 日後にはほぼ確定したが、あまり気分の良いことではない。

そうそう。この試験用にノート PC を新調したのである。購入当初は非公開とさせて頂いたが、Let's Note W4 である。いつもビジネスクラスでいくのならバッテリーを貸してもらえが（JAL の場合）、エコノミーの場合もあり、バッテリーの寿命のこだわった。かつ、CD-ROM 標準装備も重要である。Univer-CD をよく見るからである。それに応えてくれるのがこの W4 である。

今までラボ試験では縁起にこだわって、数々のくだらない定番を作ってしまった。

- 1 . 成田空港のマックで何か食べる
- 2 . 移動はもちろん JAL のエコノミークラスで
- 3 . ホテルは THE SEBEL
- 4 . メシはさとうのご飯を中心に
- 5 . セブンイレブンで水とファンタオレンジと定番のプリングルスを買う

これではまるでゴルゴ状態である。握手をしない、人が後ろに立つと反射的に攻撃をしてしまう、などなど、あまりにも行動を制約してしまうことで固まってしまっている。ゴルゴが散髪する際には、前に立って、切ってもらっているのだろうか。

今回はそのような古い慣習を断ち切ることにした。JAL はビジネスで予約した。フライトで疲労したくないからである。できるだけ自然体で受験しようと思っている。（注：私の身分的にはエコノミーが適しています）

< 10 / 2 (日) 出発当日 >

実は金曜からほとんど寝ていない。プロの受験家としての感覚で「ここまでやれば絶対に合格する」というラインが見えていたのである。この感性、とても大事である。やっと見えた。だったらそこまでやってやろう。幸い、私は体力には自信がある。何度も何度も設定を繰り返した。

出発の8時間前の時点から、2回も設定をクリアしてやり直した。自分の感性で、合格ラインを超えた気がする。

昼前から移動を開始。今日は networker さん主催の

「ガレージ兵頭を励ます会」

が成田で開催される。正確には羽田で集合して、番犬さんの車で成田に移動して、そこでお茶することになっている。

しかも嬉しいことに、ちょうどサンノゼから AA で成田に帰着する隊長が励ます会に参加してくれることになった。懐かしいな。

羽田で無事に networker さん、番犬さんと合流できた。番犬さんの車は何とハイブリットのアルファードである。この車、高いだろうな。乗り心地も素晴らしいですよ。番犬さんは機械マニアというのであろうか、もちろん車載のナビは着いているのであるが、それとは別にハンディタイプの GPS を持っており、成田に向かいながら

「直線距離では何キロです」

なんて言ってる。そういえば「最近はず絶対座標で行動してます」などと謎めいたことをメールに書いていた。



無事に成田到着。そこで番犬さんから思いがけないものを頂いた。番犬さんというと、プロの登山家であるが(ウソ)最近では富士山に深い造詣を抱いている。メールにも富士山に対する熱い思いを書いてくるが、ちょっと理解不能なところもある。その番犬さんから、合格祈願として富士山の画像をプリントアウトしたものをもらった。これはありがたい。ポケットに忍ばせて試験に持ち込もう。何ら違反行為ではないはずである。

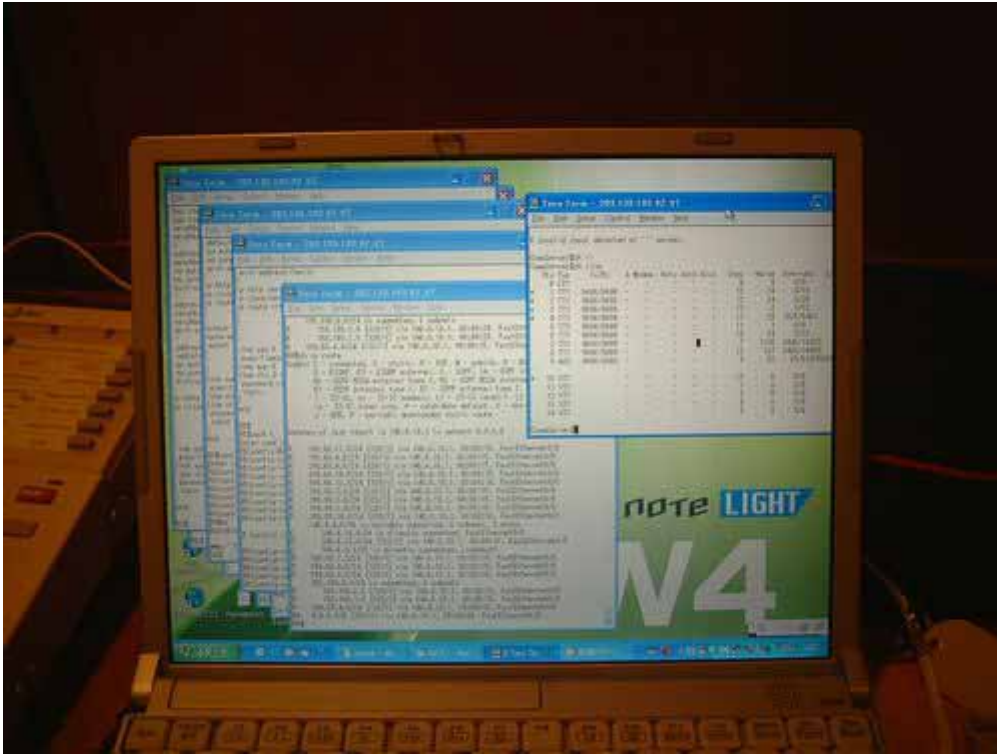
見晴らしのよいカフェでお茶しているところに隊長が合流した。熱いやつらが4人も集まって、熱くて熱くてたまらない議論が続いた。高いモチベーションを維持している人たちとは、あまり感性がずれないものである。隊長もまっすぐな人だから大好きである。networkerさんも番犬さんも、隊長の純真さには脱帽であろう。ただし、隊長が海外出張に持っていく目覚まし時計だけは見せてはならない。

ほどなくして、私もラウンジで最終調整をするので健闘を誓って別れた。ああ、本当に良かった。気力が高まってくるのを感じる。自分の中では今回こそ、勝負の試験であるし、このような楽しいひと時も楽しむこともできて、気分は最高である。

やりますよー

合格してきますよー

出国手続きもスムーズに終わり、一万円分だけAUDに両替した。元々50AUDくらい持っていたので、あわせて150AUDくらいである。何せ、もう、試験では来ることがない(Voiceはシドニーでは実施していない)と思っているので、できるだけ現金を残したくないのである。



いつものようにシャワーを利用し、ラウンジで少し勉強してからフライトの時間である。

ビジネスクラスなので快適である。実は、もし、隣の席が空くのであれば、エコノミーの席に移動してもいいかな、と思っていたが、どっちにしる満席だとのこと。だったらビジネスクラスである。食前酒なども飲むことなく、淡々と勉強しながら移動するが、いかんせん、睡眠不足でフラフラである。1時過ぎにはダウンして、朝までぐっすり寝ていたようである。



なお、私は海外移動の際にはノイズキャンセリングヘッドフォンを利用する。私はソニー製を使っているが、ボーズ製が有名だろう。皆さんに是非奨める、というほどのものではないが、悲観するほどのものでもない、といっておこうか。

ようやく、死ドニー到着である。今度こそ決めてやる。

< 10 / 3 (月) 試験前日 >

前回はえらく長蛇の列で待たされた入国審査も、あっという間に抜けて、スーツケースもすぐに出てきた。ありとあらゆる PriorityTag をつけてもらっているのが当然か。いつものようにさとうのご飯は持ち込んでいるので申告する。問題なく通過。

出口を抜けて、電車の駅に向かっていると、他の出口のところでは黒山の人だかりである。

テレビカメラも来ている。何だろうね。

まさか、カズ？

なんて思ったが、違っだろう。

前回、メンテナンスのために運休であったのでとても気になっていた。何せ、今日は Public Holiday である。頼むから動いていてね、と思っていたら、まあ、普通に運行していた。



Chatswood まではセントラル駅で乗り換えをしなければいけないのであるが、International Airport 駅の係員さんは「24 番線に乗りかえろ」とのことだったが、いざ、セントラル駅で 24 番線に行こうとすると、あきらかにおかしい。何度か乗り換えしたことあるので、わかるのであるが、正解は 16 番線である。ホント、頼みますよ。間違ったら大変ですから。

16 番線で電車を待つが、North Sydney 行きだけは乗ってはならない。乗ってはならない、ということはないが、途中までしかいかないのである。きっと、狼狽すると思う。だから、それ以外の電車で行くようにしてください。North Sydney 行き以外は全て Chatswood に行くはずである。あちこちに係員さんがいるので尋ねてもいいだろう。

空港から Ctatswood まであわせて 45 分くらいだろうか。すぐに SEBEL に向かう。これは一番近いホ

テルなので縁起とかには関係ない。単に便利だから利用している。10時くらいに到着したが、部屋の準備がまだできていないとのこと。アーリーチェックインの確約をしているわけでもないのだから仕方ない。できる限り早く部屋に入りたい旨を伝えて、スーツケースを預けて、目の前にあるショッピングセンターのカフェで時間をつぶすことにする。マルチキャストを中心に復習する。

一時間半くらいの時間を調整して、ホテル行ってみると

「あなたの部屋はもう準備できています。荷物も部屋に置いてあります」

とのこと。ありがたい。すぐにショッピングセンターに戻って日本食のスーパーで買い物をして、部屋に入った。もうこれから試験までは一歩も外に出ないで勉強である。ふりかけやお茶漬けや、カップめんを中心に買い物をしたので、生活ができるレベルである。



セブンイレブンでファンタオレンジやプリングルズを買うこともしなかった。そういうこと無しで合格できると確信しているからである。



ここで、驚愕の事実がまた発覚した。前回のレポートで、ガスコンロがなぜか右の手前しか点火できないことを伝えた。恐る恐る試してみると全部使える。まあ、当たり前でしょうね、元々、点火しにくい構造のようだが、頑張れば道は開けるといふことである。



兵頭ラボも快調に動いている。今回も気が遠くなるほどのドキュメントを持ち込んでいる。スーツケースの重量は 30 キロを超えている。体力自慢の私でも、駅の階段を登ることができない程である。ああ、

あれを持ってくればよかった、などと後悔をしたくない。後悔するくらいなら、重くてもいいから全部持っていく。それがプロの受験家である。



音楽はもちろん No Damage である。つまらない大人にはなりたくない。そういう思いが伝わってくる。

ところで死ドニーは南半球なので日本と気候が逆である。だから春先くらいの感じだろうか。が、事前に気候を調べると最高気温が28度だなんていってる。本当だろうか？

結果的に本当であった。ほとんどの現地の方は半袖である。私も半袖のポロシャツだったのでちょうどよかった。あまり外を出歩かないのでどうでもいいんですけどね。

全てを確認し終わると、夜の10時くらいである。5時には起きるので、10時には寝たいと思う。それで睡眠時間が7時間。ちょうどよいだろう。風呂に入って、赤の勝負パンツを選択する。

明日、いよいよ決戦である。

<10/4(火)試験当日>

5時に起きて最終確認を行う。何かを詰め込もうとするわけでもなく、試験開始の8時半の時点で、頭の回転を最高に持つための調整である。お茶漬けで朝ごはんを食べて、8時にホテルを出る。

いつものように受け付けをするが、実は、今回のラポではさらなるサプライズを用意している。そう、いつも食べているカルボナーラのペンネからの脱却である。何かこだわり過ぎて自分の価値観をぶち壊そうと思ったのである。で、選択したのは「ビーフバーガー」である。大勝負である。確か、まず

かったと記憶している。他の受験者がよく食べているが、ほとんどの人が残している。それを敢えて選択した。どういう状況だろうと勝ってやる。今日の俺は負ける気がしない。R&Sに合格した時も、Securityに合格した時も、自分の中で何かを感じていた。そう、

「神が降りてくる瞬間」

である。今日は負けるはずはない。どんなことでも分かる気がする。研ぎ澄まされた感性がそう告げている。

8時半の時点で2名の受験者が来てないということだったが、ルール通り試験開始。

まさに神が降りてきた感覚。全ての問題をスムーズにこなしていく。途中で何度かVPN間の疎通が切れたりしたが、全て問題を発見できた。これは勝てる。今日、負けるようだ**とプロの受験家**とは言えない。胸には富士山の合格祈願である。負けるはずがない。



12時半にランチ休憩。その時点で事実上、終わっていた。Securityの時に4時間弱を余らせた私であったが、今回はそれ以上である。しかし、一部、障害時の疎通ができないところがある。QoSの動作であれ？ というところもある。これを昼から詰めていこう。

今日はランチにプロクタは同席しない。用事があるらしい。その代わりに、受験者にシスコの社員が含まれていたため、彼がお目付け役ということだろうか。

また、驚愕の事実が判明した。皆さんに謝罪したい。私はペンネがベストであると繰り返し報道してきた。日曜の夕方の放送である「報道特集」や「番キシャ」でも取り上げられる直前であったように思う。しかし、ビーフバーガーがおいしいのである。むしろ、ペンネが何倍も不味いと思われるレベルである。ああ、しまった。何で初歩的なミスを。。

結局、ほとんどの受験者が残すところを、私は海外でのラボ試験至上、はじめて完食した。まさに神が降りてきた(何のこっちゃ)。でも、いつも不味いものを食べているので、今回は気分が良い。試験も良くできているのでなおさらである。

午後が開始。しかし、障害時の疎通だけはわからない。元に戻すと完璧な動作は確認できる。何度も `sh ip bgp v all` で next-hop を確認するが間違えてないと思う。

```
sh tag-switching forwarding-table
```

も同様に間違っていない。つまり完全に解決できているはずである。わからない。Feature 系を失点するならまだしも、疎通ができていないというのは最悪である。障害時の動作なので、そこだけの失点ではあるが。

残り5分まで疎通をさせるべく最大限を挑戦をしていた。が、5分を切った段階で撤退である。全ての余分な設定を消し去っていく。神が降りてきていないときには、こういうときに戻し忘れてたりするのであるが、今日は大丈夫。全てを戻して `cle ip bgp *` をかませて、復旧を確認して終了である。

なお、私はラボ試験中には、何度も何度も `wr` する。ひとつのルータで50回くらいはやっていると思う。だって、いつ電源が落ちるか保障の限りではないから。最後にプロクタが

「さあ、終了だ。configのセーブを確認するように！」

と言われてから、さらに2回ずつくらい `wr` する。そう、私はプロなのである。

試験自体は早く終わって確認に終始したが、疎通ができないという問題であり、あまり良い気がしない。合格には達していると思うが、嫌な感じである。さらに、直前の勉強で体力的には限界に来ているのであろう。本当にクタクタである。もう、何もできない感じ。

しかし、私は次の挑戦に向けて CCIE Voice の資料を持ってきているのである。学科からの取り直しである。まずは学科を頑張らないと。

夜までに合否を伝えるメールは来なかった。不合格であれば Voice の勉強はしない。2つも同時に追えるものではないからである。だから早く結果が来て欲しい。疲労のあまり気絶しそうになり、メールを待ち続けたが11時の時点でダウンである。明日は5時起床である。おやすみなさい。

< 10 / 5 (水) 帰国日 >

5時に起きて早速メールチェックする。と、メールが来ている。緊張する。合格できているだろうか。合否の書かれた画面を前に一時間近く紙で隠しながら見ることができなかった例(H氏)があったが、**プロの受験家**として、結果は厳粛に受け止めるつもりである。

が、やはり息が止まりそうになる。

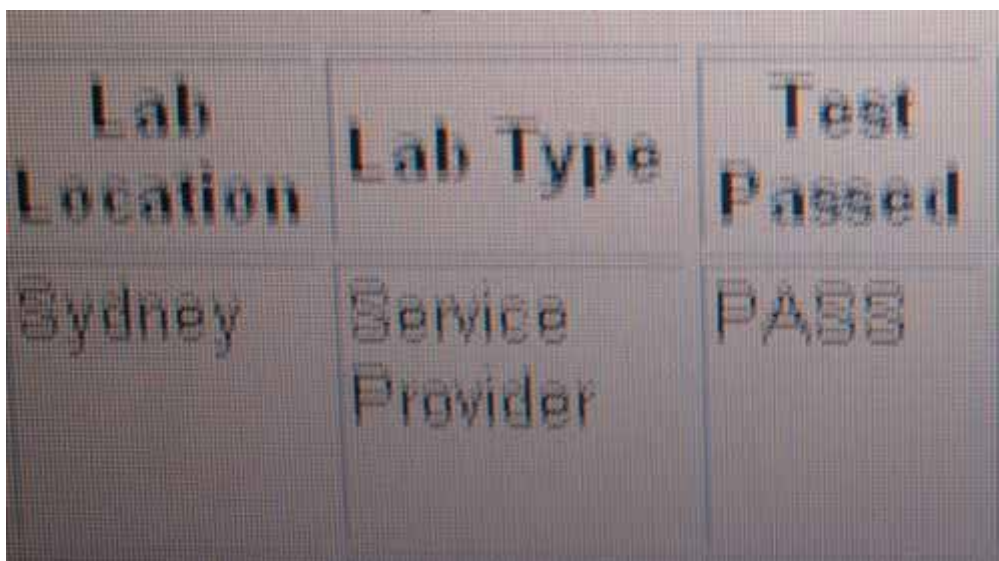
画面が遷移して、表示される。

どの部分に合否が書いてあるかなんて当然わかっている。

「Pass」「Fail」のどちらかを確認するだけである。

いろんな思いが駆け巡る。転職直前に不合格になった際には、もうダメだと思った。根性で機材を買い揃え、勉強する体制を構築して挑んできた。励ます会も実施してもらった。

結果は、、



Lab Location	Lab Type	Test Passed
Sydney	Service Provider	PASS

合格である。

ついに超えることができた。MPLS 技術なんて何も知らなかった。ただ、それを超えてみたくて頑張ってきた。

今回は泣かなかった。

いまや**プロの受験家**である。

いちいち感傷に浸ってはいられない。

早速、スーツケースから Voice の資料を取り出した。これは帰りのフライトで読むことにしよう。

実は電車で空港まで行くつもりだったが、ちょっとくらいの贅沢を神様も許してくれるだろう。フロントに電話してタクシーを呼んでもらうことにした。自分に対するささやかな褒美である。疲れているのでできるだけタクシーを利用したかったのであるが、不合格の分際ではとてもタクシーなど利用できないと思っていた。

ブログの読者の皆さんには空港のラウンジから一報を入れた。今まではダイアルアップしかできなかったが、最近では無線アクセスもできるようである。有料であるが。

合格したことで新たな挑戦も始まった。いつ合格できるかわからないが、先がある限りやってみよう。

で、シーマスターのアプネア（ジャックマイヨール）は購入するかどうかわからない。お金をかなり使ってしまったので、貧乏な私にはちょっときついのである。しばし考えさせて欲しい。Voice に合格できた時こそ買おう、とっていたら発奮材料になるだろうか。

現在、腕に巻いているスピードマスターには思い入れがある。私はこの時計に今後も精進し続けることを誓ったのである。だから複雑な気持ちである。

どちらにしろ、次に向かってすでに動き始めた。ラボはいつ受験するのかまだわからないが、長丁場になるかもしれない。



行きのフライトでは淡々と勉強し続けたが、帰りのフライトではささやかな祝杯をあげさせてもらった。

しかし、俺は負けない。

最後には必ず勝ってやる。